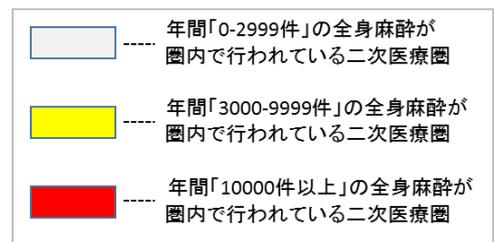
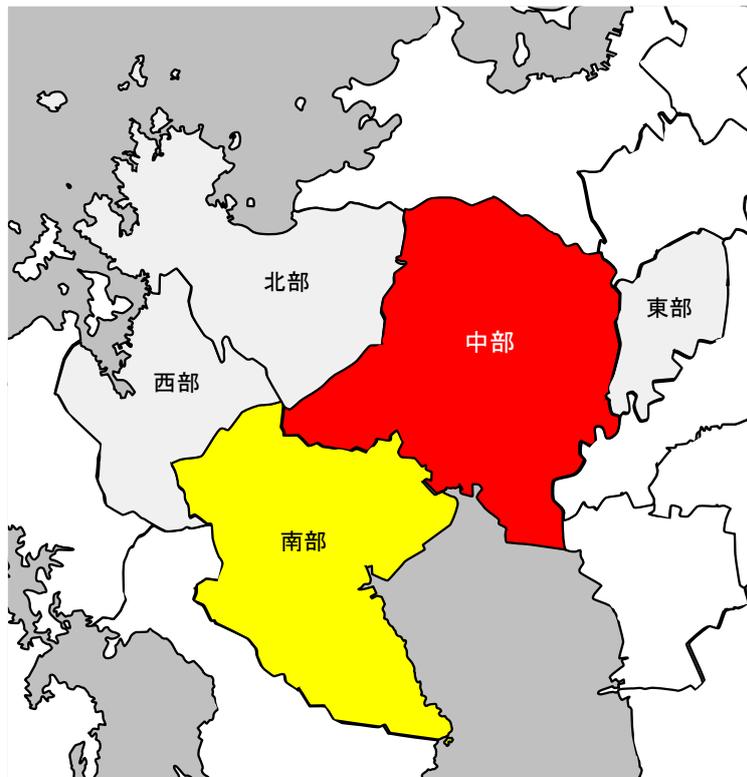


# 41. 佐賀県



目次

佐賀県	41	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	41	-	7
1. 中部医療圏	41	-	19
2. 東部医療圏	41	-	23
3. 北部医療圏	41	-	27
4. 西部医療圏	41	-	31
5. 南部医療圏	41	-	35

# 41. 佐賀県

## (佐賀県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 佐賀県は、総人口約811千人(2020年)、面積2,441km<sup>2</sup>、人口密度は332人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 佐賀県の総人口は2030年に757千人へと減少し(2020年比-7%)、2045年に664千人へと減少する(2030年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の126千人が、2030年にかけて155千人へと増加し(2020年比+23%)、2045年には148千人へと減少する(2030年比-12%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 佐賀県の一人当たり医療費(国保)は452千円(偏差値68)、介護給付費は275千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が53(病院医師数54、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は64と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値66と非常に多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 佐賀県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11,360人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が7,161床(偏差値51)、高齢者住宅等が4,199床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10,748人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設55、介護医療院53、有料老人ホーム46、軽費ホーム48、グループホーム62、サ高住35である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、825人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

## 2. 推移

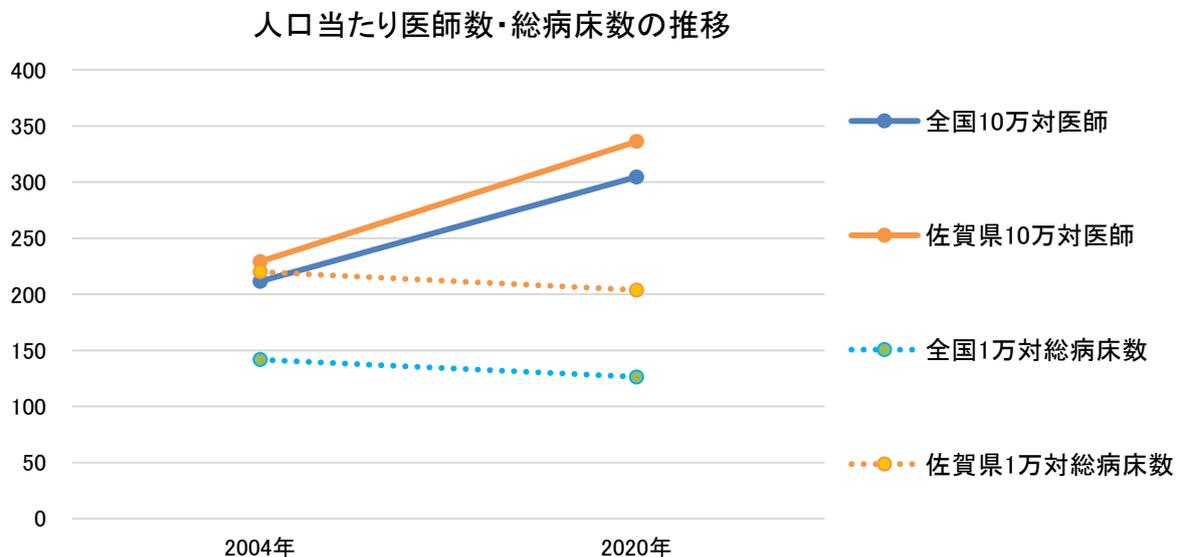
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は112(人口10万人当たり12.9病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2020年に100(人口10万人当たり12.3病院(全国平均6.5)偏差値64)となり、16年間で12病院が減少した。

2004年の診療所数は678(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2020年に691(人口10万人当たり85診療所(全国平均81)偏差値52)と、13診療所が増加した。

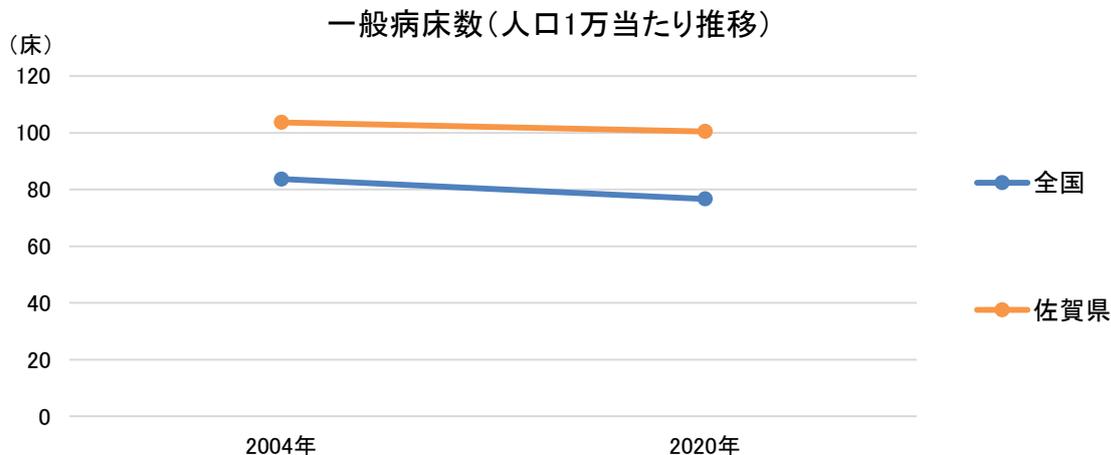
2004年の総病床数は19,063床(人口1万人当たり220(全国平均142)偏差値64)であったが、2020年に16,534床(人口1万人当たり204(全国平均126)偏差値64)と、2,529床の減少、率にして13%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,985人(人口10万人当たり229人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2020年に2,728人(人口10万人当たり336人(全国平均305人)偏差値53)と、743人の増加、率にして37%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



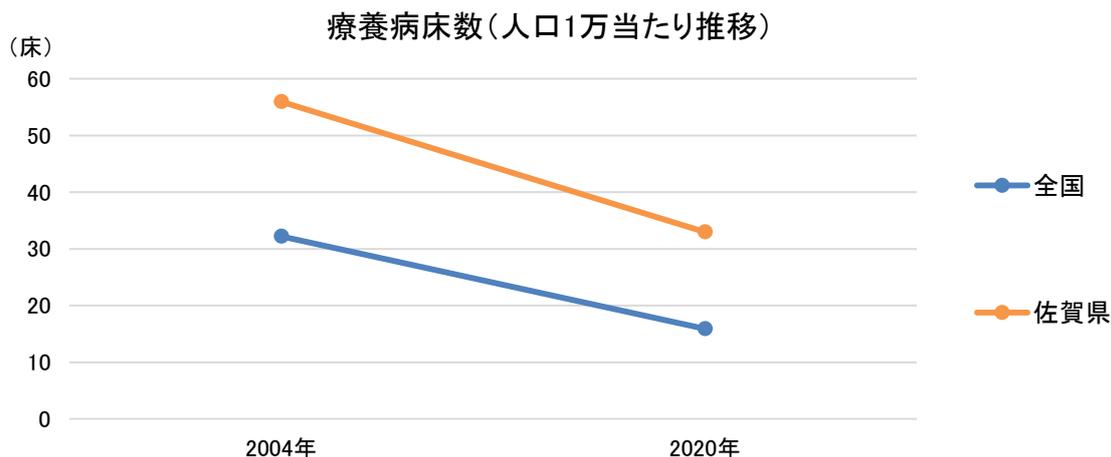
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は8,981床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2020年に8,152床(人口1万人当たり100(全国平均77)偏差値59)と、829床の減少、率にして9%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は5,475床(75歳以上1,000人当たり56(全国平均32)偏差値64)であったが、2020年に4,167床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均16)偏差値68)と、1,308床の減少、率にして24%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 41-1 地理情報・人口情報

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率
全国	126,146		372,959		338.2		29%
佐賀県	811	41位	2,441	42位	332.5		31%
中部	343	42%	794	33%	432.0	地方都市型	29%
東部	126	16%	159	6%	796.0	地方都市型	28%
北部	123	15%	524	21%	234.9	地方都市型	33%
西部	72	9%	321	13%	223.1	過疎地域型	33%
南部	148	18%	644	26%	229.4	地方都市型	34%

出典 <人口>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月  
<面積>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月

資\_図表 41-2 人口動態

二次医療圏	2020年 総人口 (単位: 千人)	2030年 総人口 (単位: 千人)	2045年 総人口 (単位: 千人)	2020年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2030年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2045年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2020→ 30年 総人口 増減率	2030→ 45年 総人口 増減率	2020→ 30年 75歳以上 人口 増減率	2030→ 45年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,146	119,125	106,421	18,602	22,884	22,767	-6%	-11%	23%	-1%
佐賀県	811	757	664	126	155	148	-7%	-12%	23%	-5%
中部	343	326	295	51	63	62	-5%	-10%	24%	-2%
東部	126	123	115	17	23	23	-2%	-7%	35%	0%
北部	123	112	93	20	25	22	-9%	-17%	25%	-12%
西部	72	65	54	12	14	13	-10%	-17%	17%	-7%
南部	148	131	107	26	31	28	-11%	-18%	19%	-10%

出典 <人口(2020年)>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月  
<人口(2030年、2045年)>市区町村別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月

資\_図表 41-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	地域差 指数
全国	372	(46)	1.000	147	(33)	1.000	199	(18)	1.000	263	(33)	
佐賀県	452	68	1.202	204	67	1.380	223	63	1.098	275	54	
中部	451	67	1.205	196	65	1.328	229	67	1.138	272	53	
東部	472	72	1.218	212	70	1.390	234	70	1.122	238	42	
北部	429	63	1.147	191	63	1.293	215	59	1.069	285	57	
西部	458	69	1.189	218	72	1.435	217	60	1.049	285	57	
南部	458	69	1.214	218	72	1.466	213	57	1.050	293	59	

出典 <一人あたり医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省  
<一人あたり介護給付費>令和元年度介護保険事業状況報告(年報) 令和元年度累計(平成31年3月サービス分から令和元年2月サービス分まで)  
※愛知県、福岡県、沖縄県の一部市町村は二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、介護給付費の二次医療圏値の算定には構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。

41.佐賀県(2022年版)

資\_図表 41-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者医療費			入院費			入院外+調剤		
	(単位:千円)	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数
全国	937	(123)	1.000	475	(103)	1.000	426	(38)	1.000
佐賀県	1,072	61	1.126	589	61	1.201	449	56	1.057
中部	1,064	60	1.118	561	58	1.149	465	60	1.088
東部	1,159	68	1.236	645	66	1.358	478	64	1.121
北部	981	54	1.039	516	54	1.054	435	52	1.037
西部	1,058	60	1.110	629	65	1.274	400	43	0.946
南部	1,111	64	1.153	643	66	1.284	433	52	1.017

出典 <一人あたり後期高齢者医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省

資\_図表 41-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	8,238		6.5	(4.2)	102,612		81	(19.4)
佐賀県	100	1.2%	12.3	64	691	0.7%	85	52
中部	37	37%	10.8	60	309	45%	90	55
東部	13	13%	10.3	59	110	16%	87	53
北部	18	18%	14.6	69	101	15%	82	50
西部	10	10%	14.0	68	55	8%	77	48
南部	22	22%	14.9	70	116	17%	79	49

出典 令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月

資\_図表 41-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	102,612		81	(19.4)	96,309		76	(19.2)	6,303		5.0	(5.6)
佐賀県	691	0.7%	85	52	549	0.6%	68	45	142	2.3%	17.5	72
中部	309	45%	90	55	251	46%	73	48	58	41%	16.9	71
東部	110	16%	87	53	93	17%	74	49	17	12%	13.5	65
北部	101	15%	82	50	81	15%	66	45	20	14%	16.3	70
西部	55	8%	77	48	44	8%	61	42	11	8%	15.4	68
南部	116	17%	79	49	80	15%	54	38	36	25%	24.4	84

出典 令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月

資\_図表 41-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,507,526		1,195	(487)	86,046		68	(87)	1,593,572		1,263	(538)
佐賀県	14,451	1.0%	1,781	62	2,083	2.4%	257	72	16,534	1.0%	2,038	64
中部	5,640	39%	1,645	59	864	41%	252	71	6,504	39%	1,897	62
東部	2,362	16%	1,871	64	255	12%	202	65	2,617	16%	2,073	65
北部	2,040	14%	1,659	60	282	14%	229	68	2,322	14%	1,888	62
西部	1,244	9%	1,736	61	157	8%	219	67	1,401	8%	1,956	63
南部	3,165	22%	2,143	69	525	25%	355	83	3,690	22%	2,499	73
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 41-8 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	887,920		704	(229)	289,114		229	(184)	324,481		257	(223)
佐賀県	6,323	0.7%	779	53	3,913	1.4%	482	64	4,161	1.3%	513	61
中部	3,096	49%	903	59	1,117	29%	326	55	1,419	34%	414	57
東部	703	11%	557	44	853	22%	676	74	772	19%	612	66
北部	836	13%	680	49	589	15%	479	64	611	15%	497	61
西部	472	7%	659	48	438	11%	611	71	330	8%	461	59
南部	1,216	19%	823	55	916	23%	620	71	1,029	25%	697	70
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 41-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69	(53)	74,859		59	(78)
佐賀県	915	1.0%	113	58	891	1.2%	110	57
中部	289	32%	84	53	376	42%	110	56
東部	235	26%	186	72	230	26%	182	66
北部	114	12%	93	54	84	9%	68	51
西部	124	14%	173	70	48	5%	67	51
南部	153	17%	104	56	153	17%	104	56
出典	令和4年4月地方厚生局				令和4年4月地方厚生局			

41.佐賀県(2022年版)

資\_図表 41-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	441,504	395,508	14,642	1,056,086	488,026	271,703	44.8%	(26%)	5.1%	(23%)
佐賀県	3,925	3,244	139	10,323	3,081	3,623	51.3%	53	3.7%	49
中部	2,372	1,793	83	3,271	1,328	1,042	57.4%	55	7.4%	51
東部	335	301	0	2,083	458	853	39.7%	48	0.0%	48
北部	553	493	56	1,450	353	486	58.3%	55	10.3%	52
西部	206	202	0	926	210	386	49.0%	52	0.0%	48
南部	459	455	0	2,593	732	856	38.3%	48	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧令和4年4月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計 公的病院は、「新公立病院改革プラン」・「公的医療機関等2025プラン」の策定対象病院とし、開設者が国・都道府県/市区町村/日本赤十字社/済生会/独立行政法人地域医療機能推進機構/地方独立行政法人/独立行政法人国立病院機構/国家公務員共済組合連合会などの病院を含む(ただし地域医療支援病院と特定機能病院については上記に適合しない学校法人の大学病院など全て民間に分類)。これら以外を民間病院としている。指定一覧掲載施設のうち、休止中の病院等は除外している。									

資\_図表 41-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
佐賀県	17,767	0.8%	2,190	54	7,836	0.9%	966	61
中部	10,770	61%	3,141	66	2,532	32%	738	53
東部	1,011	6%	801	37	2,112	27%	1,673	87
北部	2,208	12%	1,795	50	1,044	13%	849	57
西部	778	4%	1,086	41	612	8%	854	57
南部	3,000	17%	2,031	52	1,536	20%	1,040	64
出典	令和3年度病床機能報告(令和2年4月～令和3年3月)				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月 ※令和2年9月の月間件数×12			

資\_図表 41-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
佐賀県	2,728	0.7%	336	53	1,783	0.7%	220	54	945	0.7%	117	51
中部	1,389	51%	405	60	936	53%	273	61	452	48%	132	56
東部	308	11%	244	44	151	8%	119	40	157	17%	124	54
北部	342	13%	278	47	230	13%	187	49	112	12%	91	44
西部	185	7%	258	45	124	7%	173	47	61	6%	84	42
南部	505	19%	342	54	342	19%	231	55	164	17%	111	50
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 41-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	33,119		26.3	(12.4)	14,168		11.2	(4.9)	11,602		9.2	(4.3)
佐賀県	249	0.8%	30.7	54	95	0.7%	11.7	51	72	0.6%	8.9	49
中部	148	59%	43.2	64	55	58%	16.0	60	43	60%	12.5	58
東部	25	10%	19.8	45	10	11%	7.9	43	4	6%	3.2	36
北部	35	14%	28.5	52	11	12%	8.9	45	7	10%	5.7	42
西部	14	6%	19.5	45	6	6%	8.4	44	5	7%	7.0	45
南部	27	11%	18.3	44	13	14%	8.8	45	13	18%	8.8	49
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 41-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	5,948		4.7	(2.3)	9,835		7.8	(3.1)	7,558		6.0	(2.7)
佐賀県	36	0.6%	4.4	49	57	0.6%	7.0	47	46	0.6%	5.7	49
中部	19	53%	5.5	54	31	54%	9.0	54	26	57%	7.6	56
東部	3	8%	2.4	40	7	12%	5.5	43	5	11%	4.0	42
北部	5	14%	4.1	47	5	9%	4.1	38	3	7%	2.4	37
西部	2	6%	2.8	42	2	4%	2.8	34	2	4%	2.8	38
南部	7	19%	4.7	50	12	21%	8.1	51	10	22%	6.8	53
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 41-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	9,934		7.9	(3.6)	22,312		17.7	(7.0)	17,476		13.9	(4.9)
佐賀県	77	0.8%	9.5	55	141	0.6%	17.4	50	164	0.9%	20.2	63
中部	40	52%	11.7	61	76	54%	22.2	56	89	54%	26.0	75
東部	12	16%	9.5	55	14	10%	11.1	41	19	12%	15.1	52
北部	5	6%	4.1	39	18	13%	14.6	46	25	15%	20.3	63
西部	3	4%	4.2	40	11	8%	15.4	47	8	5%	11.2	45
南部	17	22%	11.5	60	22	16%	14.9	46	23	14%	15.6	54
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

41.佐賀県(2022年版)

資\_図表 41-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科 専門医数				脳神経外科 専門医数				放射線科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		5.0	(2.2)			5.7	(2.5)			5.1	(3.3)	
佐賀県	48	0.8%	5.9	54	58	0.8%	7.1	56	54	0.8%	6.7	55
中部	23	48%	6.7	58	25	43%	7.3	56	22	41%	6.4	54
東部	7	15%	5.5	53	7	12%	5.5	50	11	20%	8.7	61
北部	9	19%	7.3	60	10	17%	8.1	60	8	15%	6.5	54
西部	3	6%	4.2	46	3	5%	4.2	44	0	0%	0	35
南部	6	13%	4.1	46	13	22%	8.8	63	13	24%	8.8	61
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 41-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科 専門医数				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		6.3	(3.5)			1.4	(1.0)			3.7	(2.3)	
佐賀県	69	0.9%	8.5	56	8	0.4%	1.0	45	34	0.7%	4.2	52
中部	45	65%	13.1	70	5	63%	1.5	50	27	79%	7.9	68
東部	4	6%	3.2	41	0	0%	0	36	2	6%	1.6	41
北部	5	7%	4.1	43	1	13%	0.8	44	2	6%	1.6	41
西部	2	3%	2.8	40	0	0%	0	36	1	3%	1.4	40
南部	13	19%	8.8	57	2	25%	1.4	49	2	6%	1.4	40
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 41-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数				リハビリテーション科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		1.9	(1.4)			2.3	(1.6)	
佐賀県	15	0.6%	1.8	50	20	0.7%	2.5	51
中部	10	67%	2.9	57	13	65%	3.8	59
東部	1	7%	0.8	42	1	5%	0.8	41
北部	1	7%	0.8	42	3	15%	2.4	51
西部	1	7%	1.4	47	2	10%	2.8	53
南部	2	13%	1.4	46	1	5%	0.7	40
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月							

資\_図表 41-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,164,671		923	(286)	918,226		728	(238)	246,444		195	(75)
佐賀県	11,662	1.0%	1,437	68	8,902	1.0%	1,097	66	2,760	1.1%	340	69
中部	5,109	44%	1,490	70	3,790	43%	1,105	66	1,320	48%	385	75
東部	1,610	14%	1,275	62	1,263	14%	1,001	61	346	13%	274	61
北部	1,674	14%	1,361	65	1,317	15%	1,071	64	358	13%	291	63
西部	920	8%	1,284	63	720	8%	1,005	62	199	7%	278	61
南部	2,350	20%	1,591	73	1,812	20%	1,227	71	538	19%	364	73
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 41-20 療法士総数と薬剤師数

二次医療圏	療法士総数				薬剤師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	149,112		118	(62)	321,982		255	(99)
佐賀県	1,760	1.2%	217	66	1,952	0.6%	241	49
中部	530	30%	155	56	952	49%	278	52
東部	429	24%	340	86	327	17%	259	50
北部	224	13%	182	60	261	13%	212	46
西部	189	11%	264	73	113	6%	158	40
南部	388	22%	263	73	299	15%	202	45
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月			

資\_図表 41-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,280		0.8	(0.4)	1,698		0.1	(0.1)	14,163		0.8	(0.3)
佐賀県	128	0.8%	1.0	55	19	1.1%	0.2	58	106	0.7%	0.8	53
中部	44	34%	0.9	51	8	42%	0.2	59	43	41%	0.9	53
東部	30	23%	1.7	73	4	21%	0.2	68	22	21%	1.3	70
北部	24	19%	1.2	59	1	5%	0.0	44	13	12%	0.6	45
西部	7	5%	0.6	44	2	11%	0.2	60	9	8%	0.7	49
南部	23	18%	0.9	52	4	21%	0.2	58	19	18%	0.7	49
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和4年5月			

41.佐賀県(2022年版)

資\_図表 41-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,806,963		97	(15)	1,036,035		56	(14)	770,928		41	(14)
佐賀県	11,360	0.6%	90	45	7,161	0.7%	57	51	4,199	0.5%	33	44
中部	4,475	39%	88	44	2,727	38%	54	49	1,748	42%	35	45
東部	1,659	15%	96	49	749	10%	43	41	910	22%	53	58
北部	1,890	17%	93	47	1,272	18%	62	55	618	15%	30	42
西部	971	9%	81	39	636	9%	53	48	335	8%	28	40
南部	2,365	21%	91	46	1,777	25%	68	59	588	14%	23	36
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 41-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数				介護医療院定員数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護医療院定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.3)	605,983		33	(10.0)	25,266		1.4	(2.6)	39,703		2.1	(3.5)
佐賀県	2,866	0.8%	23	55	3,556	0.6%	28	46	333	1.3%	2.6	55	406	1.0%	3.2	53
中部	1,246	43%	25	58	1,260	35%	25	42	43	13%	0.9	48	178	44%	3.5	54
東部	240	8%	14	41	499	14%	29	46	10	3%	0.6	47	0	0%	0	44
北部	440	15%	22	53	698	20%	34	52	41	12%	2.0	52	93	23%	4.6	57
西部	240	8%	20	51	360	10%	30	47	21	6%	1.7	51	15	4%	1.2	47
南部	700	24%	27	62	739	21%	28	46	218	65%	8.4	76	120	30%	4.6	57
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの															

資\_図表 41-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	有料老人ホーム	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.4)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.6)
佐賀県	1,258	0.5%	10.0	46	100	0.4%	0.8	48	2,270	1.1%	18.0	62
中部	515	41%	10.2	46	50	50%	1.0	49	806	36%	15.9	58
東部	260	21%	15.1	51	50	50%	2.9	58	432	19%	25.0	74
北部	170	14%	8.3	44	0	0%	0	44	448	20%	21.9	69
西部	135	11%	11.2	47	0	0%	0	44	189	8%	15.7	58
南部	178	14%	6.8	42	0	0%	0	44	395	17%	15.2	57
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 41-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	274,702		14.8	(7.0)	33,108		1.8	(2.0)	241,594		13.0	(6.6)
佐賀県	571	0.2%	4.5	35	30	0.1%	0.2	42	541	0.2%	4.3	37
中部	377	66%	7.5	40	0	0%	0	41	377	70%	7.5	42
東部	168	29%	9.7	43	30	100%	1.7	50	138	26%	8.0	42
北部	0	0%	0	29	0	0%	0	41	0	0%	0	30
西部	11	2%	0.9	30	0	0%	0	41	11	2%	0.9	32
南部	15	3%	0.6	30	0	0%	0	41	15	3%	0.6	31
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 41-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	188,635		10.1	(2.3)	119,762		6.4	(2.1)	68,873		3.7	(1.3)
佐賀県	1,582	0.8%	12.5	60	1,144	1.0%	9.1	63	438	0.6%	3.5	48
中部	570	36%	11.3	55	384	34%	7.6	56	186	43%	3.7	50
東部	184	12%	10.7	52	104	9%	6.0	48	81	18%	4.7	57
北部	225	14%	11.0	54	181	16%	8.9	62	44	10%	2.2	38
西部	161	10%	13.4	64	128	11%	10.7	71	33	8%	2.8	43
南部	441	28%	16.9	79	347	30%	13.3	84	94	21%	3.6	49
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 41-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,556,622		84	(12.7)	1,327,531		71	(12.4)	229,090		12.3	(5.1)
佐賀県	11,573	0.7%	92	56	10,748	0.8%	85	61	825	0.4%	6.5	39
中部	4,552	39%	90	55	4,182	39%	83	59	370	45%	7.3	40
東部	1,454	13%	84	50	1,290	12%	75	53	164	20%	9.5	45
北部	2,052	18%	100	63	1,954	18%	96	70	98	12%	4.8	35
西部	1,153	10%	96	60	1,080	10%	90	65	73	9%	6.0	38
南部	2,363	20%	91	56	2,242	21%	86	62	120	15%	4.6	35
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

41.佐賀県(2022年版)

資\_図表 41-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,477,229		79	(35)	677,400		36	(14)	1,147,886		62	(23)
佐賀県	13,086	0.9%	104	57	2,027	0.3%	16	35	5,905	0.5%	47	43
中部	6,426	49%	127	63	816	40%	16	36	3,702	63%	73	55
東部	3,036	23%	176	77	440	22%	26	42	713	12%	41	41
北部	1,610	12%	79	50	230	11%	11	32	676	11%	33	37
西部	459	4%	38	38	173	9%	14	34	303	5%	25	34
南部	1,555	12%	60	44	368	18%	14	34	511	9%	20	31
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二 次医療圏別に集計したもの							

資\_図表 41-29 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.8)	8,238	6.5	(4.2)	-839	-9%
佐賀県	112	12.9	65	100	12.3	64	-12	-11%
中部	39	10.8	60	37	10.8	60	-2	-5%
東部	14	11.7	62	13	10.3	59	-1	-7%
北部	19	13.8	67	18	14.6	69	-1	-5%
西部	14	17.6	77	10	14.0	68	-4	-29%
南部	26	15.4	71	22	14.9	70	-4	-15%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資\_図表 41-30 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,612	81	(19)	5,561	6%
佐賀県	678	78	51	691	85	52	13	2%
中部	308	86	55	309	90	55	1	0%
東部	99	83	53	110	87	53	11	11%
北部	111	81	52	101	82	50	-10	-9%
西部	50	63	43	55	77	48	5	10%
南部	110	65	45	116	79	49	6	5%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資\_図表 41-31 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	384,332	305	(99)	113,961	42%
佐賀県	1,985	229	52	2,728	336	53	743	37%
中部	1,079	300	61	1,389	405	60	310	29%
東部	189	158	44	308	244	44	119	63%
北部	245	178	46	342	278	47	97	40%
西部	129	162	44	185	258	45	56	43%
南部	343	203	49	505	342	54	162	47%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資\_図表 41-32 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,593,572	126	(54)	-218,982	-12%
佐賀県	19,063	220	64	16,534	204	64	-2,529	-13%
中部	7,632	212	63	6,504	190	62	-1,128	-15%
東部	2,760	230	66	2,617	207	65	-143	-5%
北部	2,786	202	61	2,322	189	62	-464	-17%
西部	1,730	217	64	1,401	196	63	-329	-19%
南部	4,155	245	69	3,690	250	73	-465	-11%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資\_図表 41-33 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	967,030	77	(27)	-101,791	-10%
佐賀県	8,981	104	57	8,152	100	59	-829	-9%
中部	4,203	117	62	3,878	113	64	-325	-8%
東部	1,026	86	51	941	75	49	-85	-8%
北部	1,230	89	52	1,060	86	54	-170	-14%
西部	672	84	50	594	83	52	-78	-12%
南部	1,850	109	59	1,679	114	64	-171	-9%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

41.佐賀県(2022年版)

資\_図表 41-34 療養病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	296,050	16	(9)	-77,773	-21%
佐賀県	5,475	56	64	4,167	33	68	-1,308	-24%
中部	1,843	49	60	1,199	24	58	-644	-35%
東部	902	81	78	870	50	87	-32	-4%
北部	846	51	61	647	32	67	-199	-24%
西部	676	69	71	473	39	75	-203	-30%
南部	1,208	53	62	978	38	73	-230	-19%
出典	<療養病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

## 41-1. ちゅうぶ中部医療圏

構成市区町村

[佐賀市](#)

[多久市](#)

[小城市](#)

[神埼市](#)

[吉野ヶ里町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 中部(佐賀市)は、総人口約343千人(2020年)、面積794km<sup>2</sup>、人口密度は432人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 中部の総人口は2030年に326千人へと減少し(2020年比-5%)、2045年に295千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の51千人が、2030年にかけて63千人へと増加し(2020年比+24%)、2045年には62千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は451千円(偏差値67)、介護給付費は272千円(偏差値53)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が60(病院医師数61、診療所医師数56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は70と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は66と非常に多い。中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の佐賀県医療センター好生館(標準群・救命)、佐賀大学医学部附属病院(大学本院群・救命)、1000例以上のNHO佐賀病院(標準群)、500例以上のJCHO佐賀中部病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,475人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,727床(偏差値49)、高齢者住宅等が1,748床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,182人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設48、介護医療院54、有料老人ホーム46、軽費ホーム49、グループホーム58、サ高住40である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、370人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

## (中部医療圏) 2. 推移

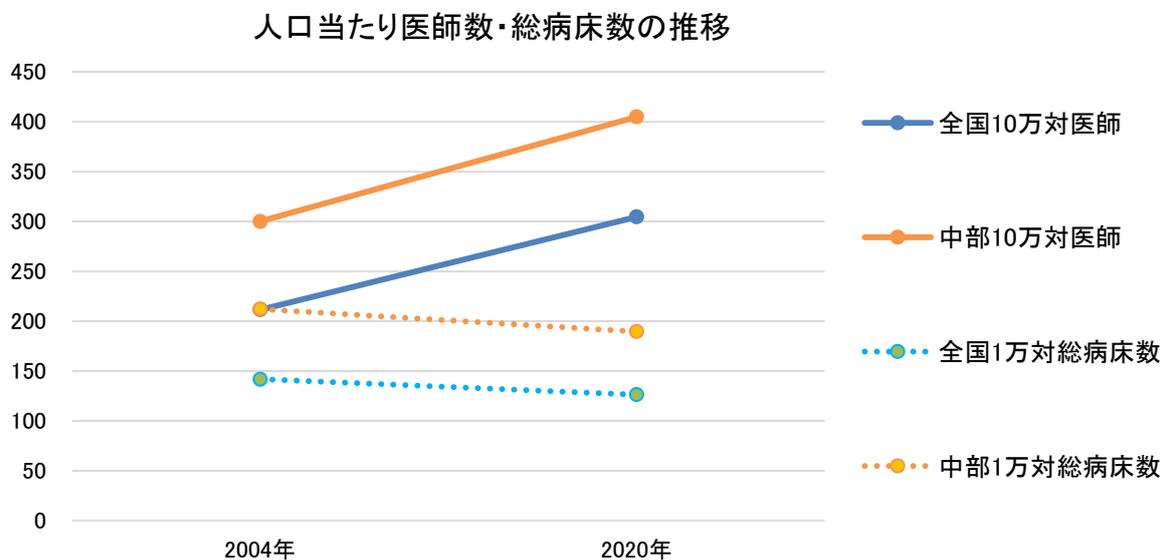
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は39(人口10万人当たり10.8病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2020年に37(人口10万人当たり10.8病院(全国平均6.5)偏差値60)となり、16年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数は308(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2020年に309(人口10万人当たり90診療所(全国平均81)偏差値55)と、1診療所が増加した。

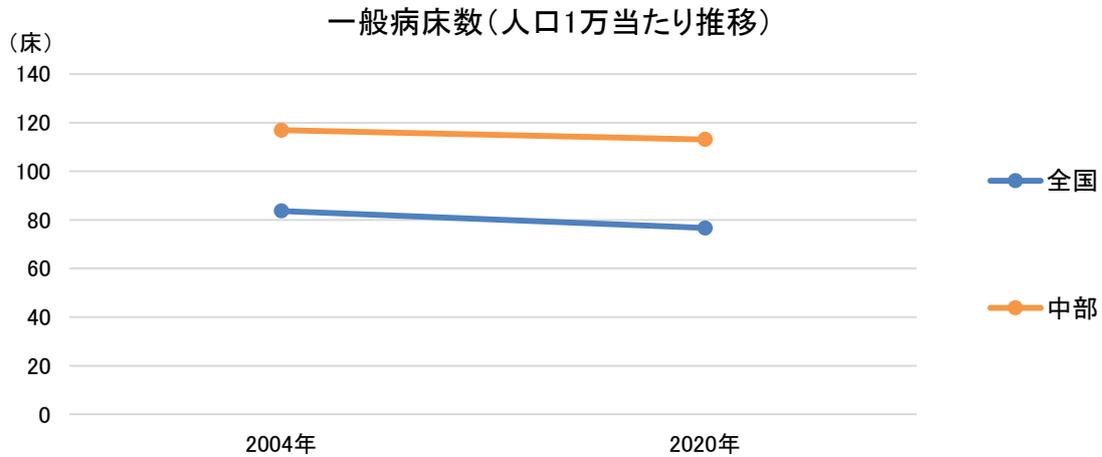
2004年の総病床数は7,632床(人口1万人当たり212(全国平均142)偏差値63)であったが、2020年に6,504床(人口1万人当たり190(全国平均126)偏差値62)と、1,128床の減少、率にして15%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,079人(人口10万人当たり300人(全国平均212人)偏差値61)であったが、2020年に1,389人(人口10万人当たり405人(全国平均305人)偏差値60)と、310人の増加、率にして29%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



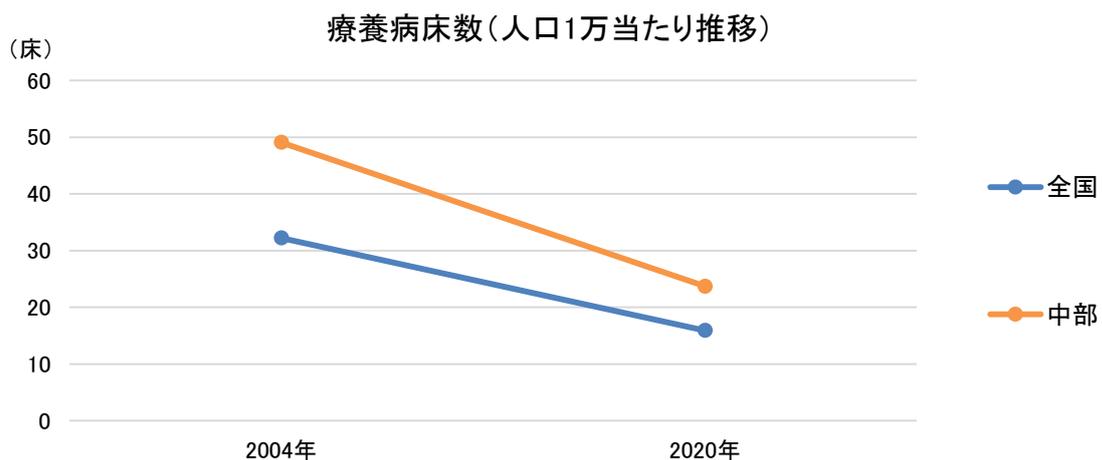
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は4,203床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2020年に3,878床(人口1万人当たり113(全国平均77)偏差値64)と、325床の減少、率にして8%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,843床(75歳以上1,000人当たり49(全国平均32)偏差値60)であったが、2020年に1,199床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均16)偏差値58)と、644床の減少、率にして35%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 41-2. <sup>と う ぶ</sup> 東部医療圏

構成市区町村

[鳥栖市](#)

[基山町](#)

[上峰町](#)

[みやき町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

**【地域の概要】**

\*人口、面積など： 東部(鳥栖市)は、総人口約126千人(2020年)、面積159km<sup>2</sup>、人口密度は796人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東部の総人口は2030年に123千人へと減少し(2020年比-2%)、2045年に115千人へと減少する(2030年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の17千人が、2030年にかけて23千人へと増加し(2020年比+35%)、2045年には23千人へと減少する(2030年比-7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は472千円(偏差値72)、介護給付費は238千円(偏差値42)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費は低い。

**【医療の現状】**

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数40、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は62と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。東部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は74と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値86と非常に多く、回復期病床数は偏差値72と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

**【介護施設や在宅ケアの現状】**

\*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,659人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が749床(偏差値41)、高齢者住宅等が910床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,290人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設47、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム51、軽費ホーム58、グループホーム74、サ高住43である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値73と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値68と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値70と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、164人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

## (東部医療圏) 2. 推移

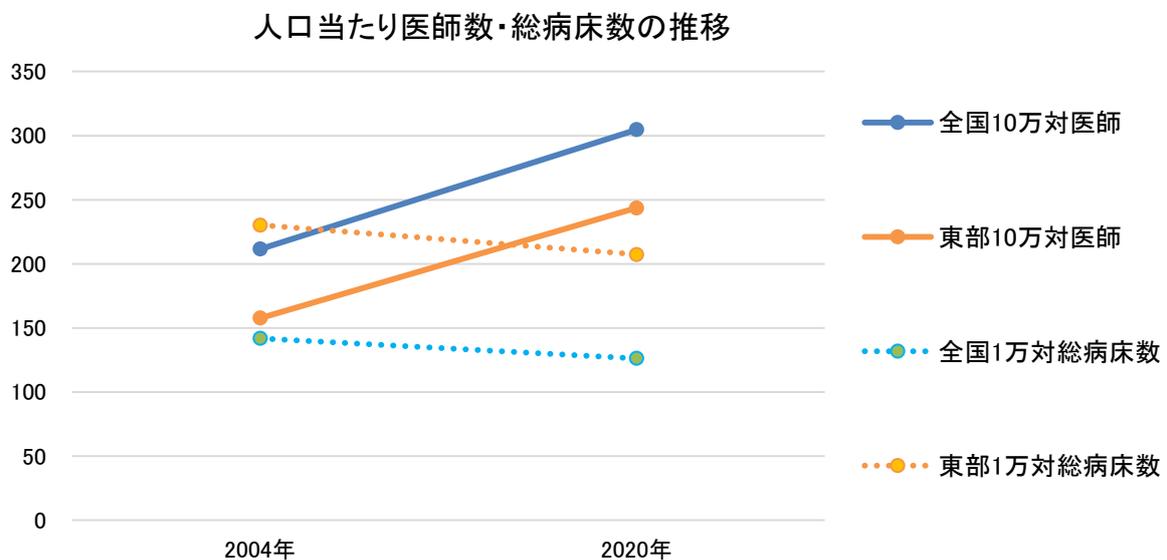
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は14(人口10万人当たり11.7病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2020年に13(人口10万人当たり10.3病院(全国平均6.5)偏差値59)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は99(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2020年に110(人口10万人当たり87診療所(全国平均81)偏差値53)と、11診療所が増加した。

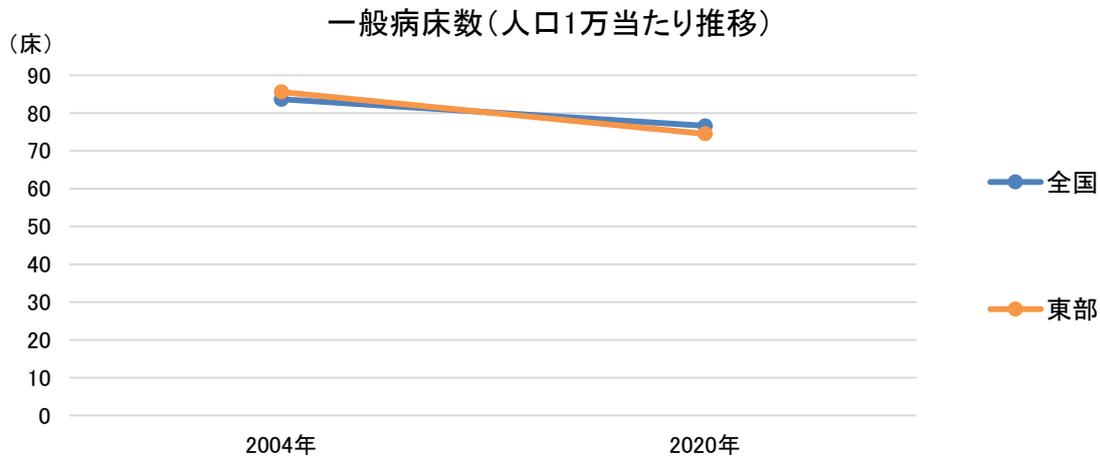
2004年の総病床数は2,760床(人口1万人当たり230(全国平均142)偏差値66)であったが、2020年に2,617床(人口1万人当たり207(全国平均126)偏差値65)と、143床の減少、率にして5%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は189人(人口10万人当たり158人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2020年に308人(人口10万人当たり244人(全国平均305人)偏差値44)と、119人の増加、率にして63%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



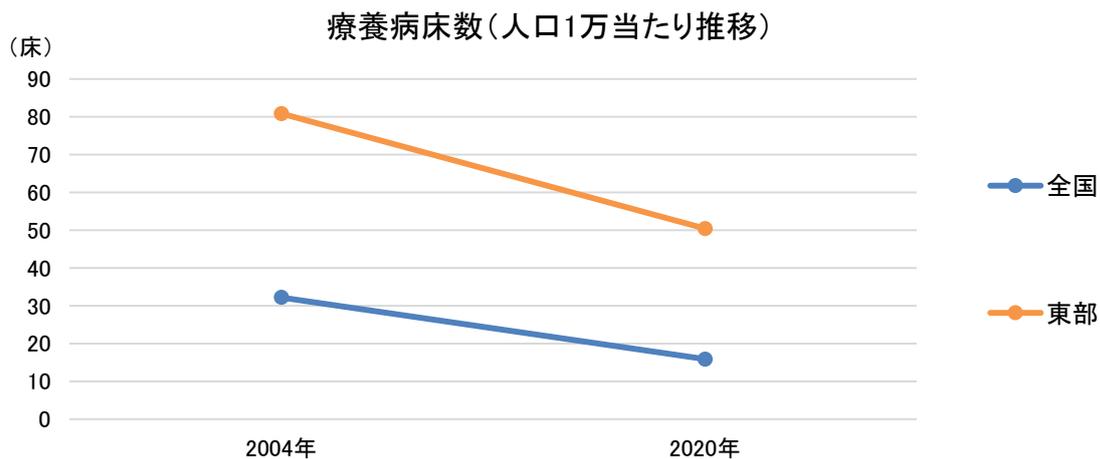
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,026床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2020年に941床(人口1万人当たり75(全国平均77)偏差値49)と、85床の減少、率にして8%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は902床(75歳以上1,000人当たり81(全国平均32)偏差値78)であったが、2020年に870床(75歳以上1,000人当たり50(全国平均16)偏差値87)と、32床の減少、率にして4%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 41-3. <sup>ほくぶ</sup>北部医療圏

構成市区町村 [唐津市](#) [玄海町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

**【地域の概要】**

\*人口、面積など： 北部(唐津市)は、総人口約123千人(2020年)、面積524km<sup>2</sup>、人口密度は235人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 北部の総人口は2030年に112千人へと減少し(2020年比-9%)、2045年に93千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の20千人が、2030年にかけて25千人へと増加し(2020年比+25%)、2045年には22千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は429千円(偏差値63)、介護給付費は285千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

**【医療の現状】**

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数49、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は65と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。北部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の唐津赤十字病院(標準群・救命)、500例以上の済生会唐津病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は64と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

**【介護施設や在宅ケアの現状】**

\*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,890人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,272床(偏差値55)、高齢者住宅等が618床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,954人(75歳以上1,000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設52、介護医療院57、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム69、サ高住なし(偏差値29)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値59と多く、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、98人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

## (北部医療圏) 2. 推移

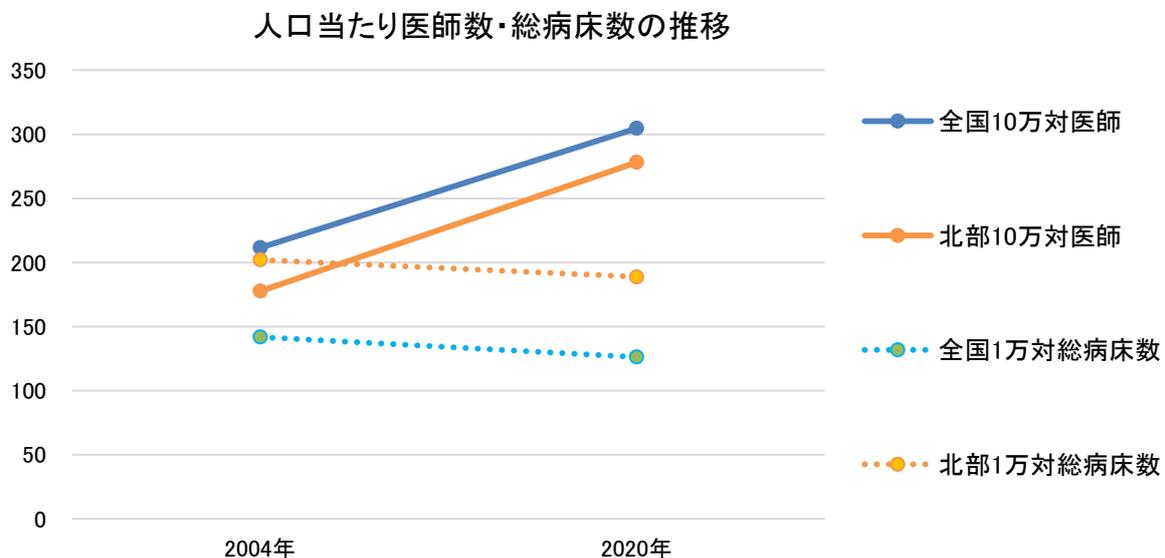
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は19(人口10万人当たり13.8病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2020年に18(人口10万人当たり14.6病院(全国平均6.5)偏差値69)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は111(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2020年に101(人口10万人当たり82診療所(全国平均81)偏差値50)と、10診療所が減少した。

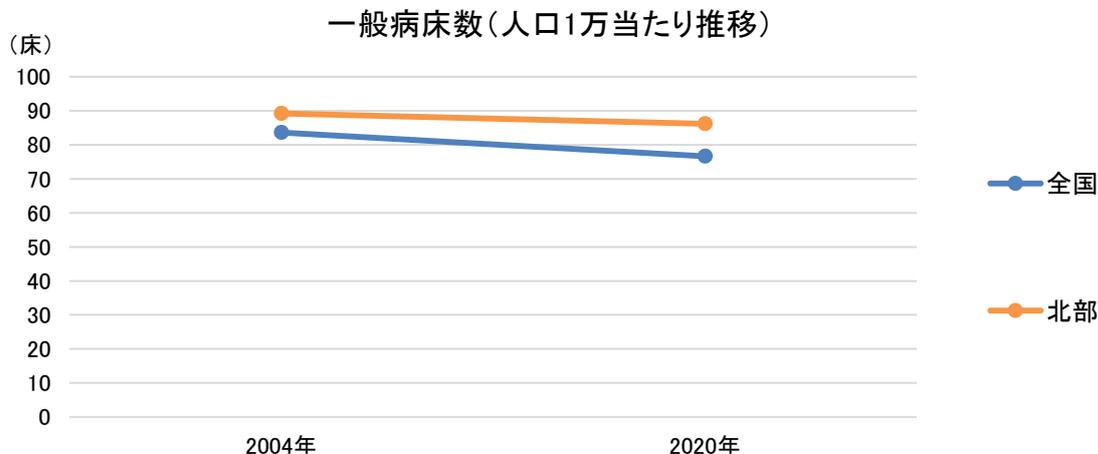
2004年の総病床数は2,786床(人口1万人当たり202(全国平均142)偏差値61)であったが、2020年に2,322床(人口1万人当たり189(全国平均126)偏差値62)と、464床の減少、率にして17%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は245人(人口10万人当たり178人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2020年に342人(人口10万人当たり278人(全国平均305人)偏差値47)と、97人の増加、率にして40%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



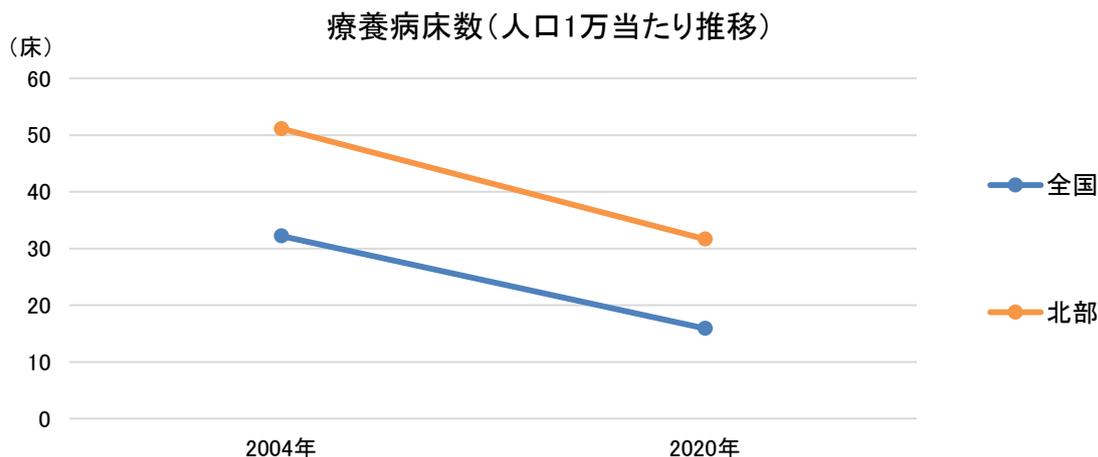
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,230床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2020年に1,060床(人口1万人当たり86(全国平均77)偏差値54)と、170床の減少、率にして14%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は846床(75歳以上1,000人当たり51(全国平均32)偏差値61)であったが、2020年に647床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均16)偏差値67)と、199床の減少、率にして24%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 41-4. <sup>せいぶ</sup>西部医療圏

構成市区町村 [伊万里市](#) [有田町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：西部(伊万里市)は、総人口約72千人(2020年)、面積321km<sup>2</sup>、人口密度は223人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：西部の総人口は2030年に65千人へと減少し(2020年比-10%)、2045年に54千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の12千人が、2030年にかけて14千人へと増加し(2020年比+17%)、2045年には13千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は458千円(偏差値69)、介護給付費は285千円(偏差値57)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が45(病院医師数47、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は63と多い。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の伊万里有田共立病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は71と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状：療法士総数は偏差値73と非常に多く、回復期病床数は偏差値70と非常に多い。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、971人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が636床(偏差値48)、高齢者住宅等が335床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,080人(75歳以上1,000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設51、介護医療院47、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム58、サ高住30である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、73人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

## (西部医療圏) 2. 推移

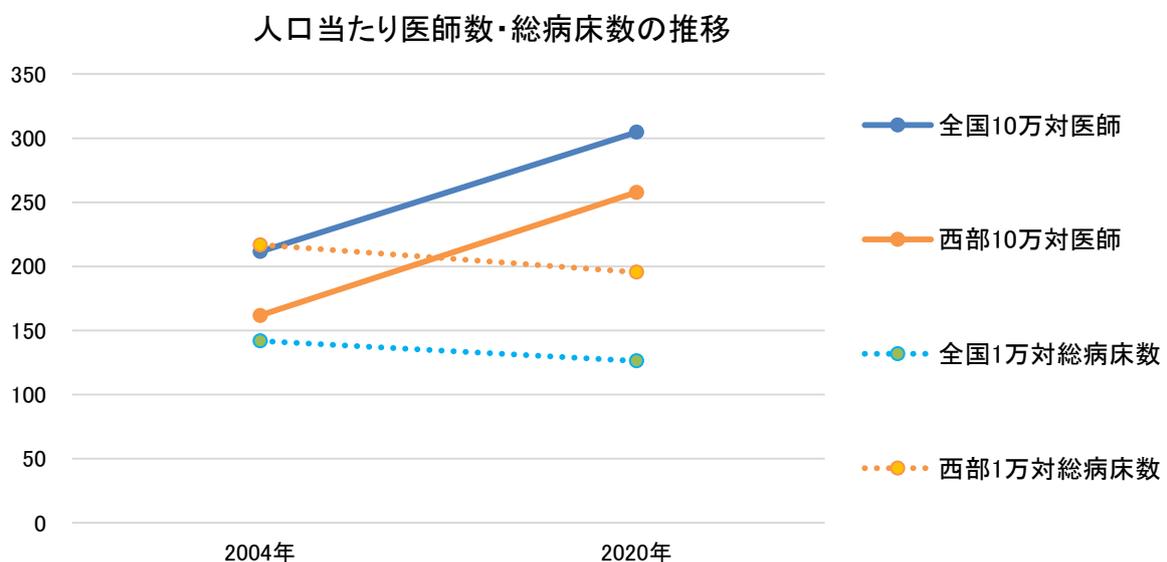
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は14(人口10万人当たり17.6病院(全国平均7.1)偏差値77)であったが、2020年に10(人口10万人当たり14病院(全国平均6.5)偏差値68)となり、16年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数は50(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2020年に55(人口10万人当たり77診療所(全国平均81)偏差値48)と、5診療所が増加した。

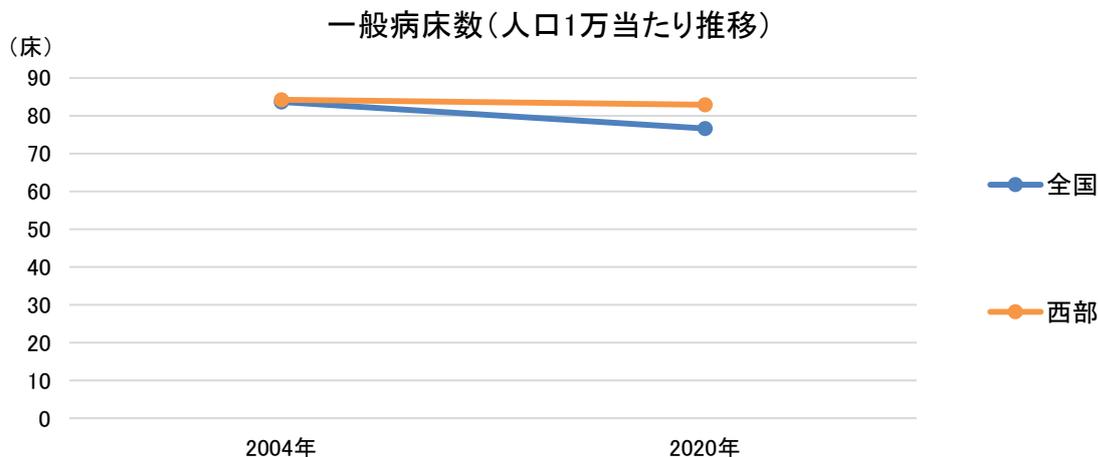
2004年の総病床数は1,730床(人口1万人当たり217(全国平均142)偏差値64)であったが、2020年に1,401床(人口1万人当たり196(全国平均126)偏差値63)と、329床の減少、率にして19%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は129人(人口10万人当たり162人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2020年に185人(人口10万人当たり258人(全国平均305人)偏差値45)と、56人の増加、率にして43%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



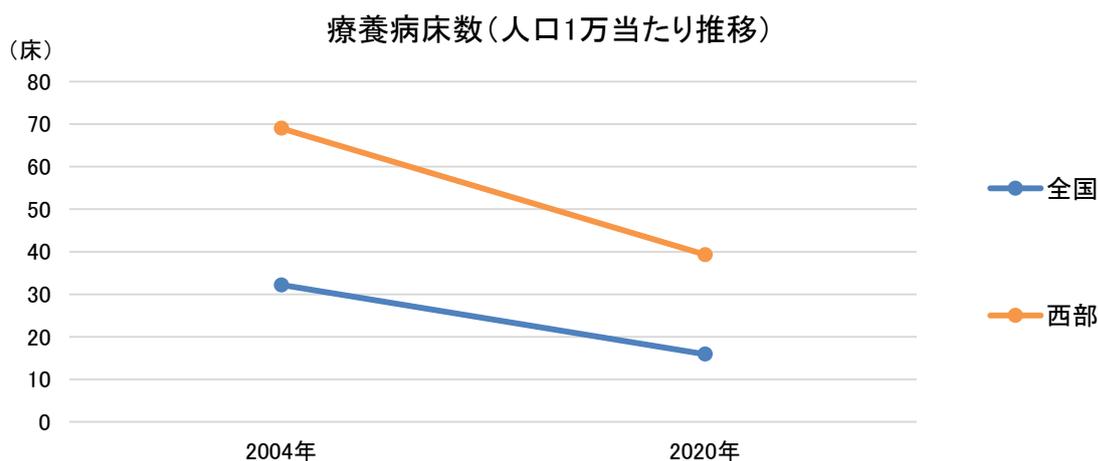
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は672床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2020年に594床(人口1万人当たり83(全国平均77)偏差値52)と、78床の減少、率にして12%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は676床(75歳以上1,000人当たり69(全国平均32)偏差値71)であったが、2020年に473床(75歳以上1,000人当たり39(全国平均16)偏差値75)と、203床の減少、率にして30%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 41-5. <sup>なんぶ</sup>南部医療圏

構成市区町村 [武雄市](#) [鹿島市](#) [嬉野市](#) [大町町](#)  
[江北町](#) [白石町](#) [太良町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 南部(武雄市)は、総人口約148千人(2020年)、面積644km<sup>2</sup>、人口密度は229人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 南部の総人口は2030年に131千人へと減少し(2020年比-11%)、2045年に107千人へと減少する(2030年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の26千人が、2030年にかけて31千人へと増加し(2020年比+19%)、2045年には28千人へと減少する(2030年比-18%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は458千円(偏差値69)、介護給付費は293千円(偏差値59)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が54(病院医師数55、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は73と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。南部には、年間全身麻酔件数が1000例以上のNHO嬉野医療センター(標準群・救命)、500例以上の新武雄病院(標準群)、副島整形外科病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は71と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値73と非常に多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は70で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,365人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,777床(偏差値59)、高齢者住宅等が588床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,242人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設76、介護医療院57、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム57、サ高住30である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、120人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

## (南部医療圏) 2. 推移

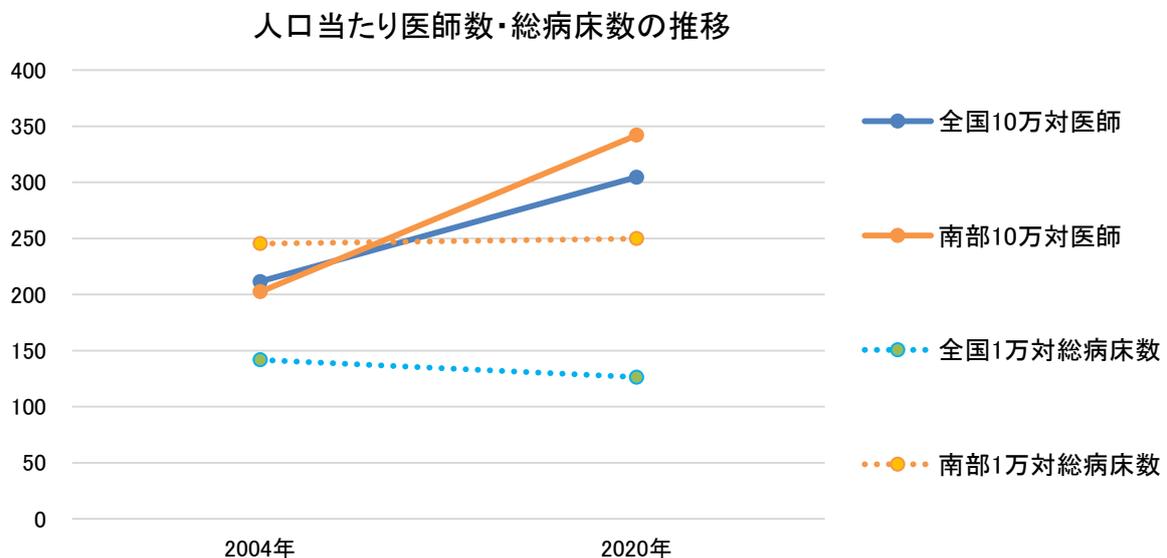
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は26(人口10万人当たり15.4病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2020年に22(人口10万人当たり14.9病院(全国平均6.5)偏差値70)となり、16年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数は110(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2020年に116(人口10万人当たり79診療所(全国平均81)偏差値49)と、6診療所が増加した。

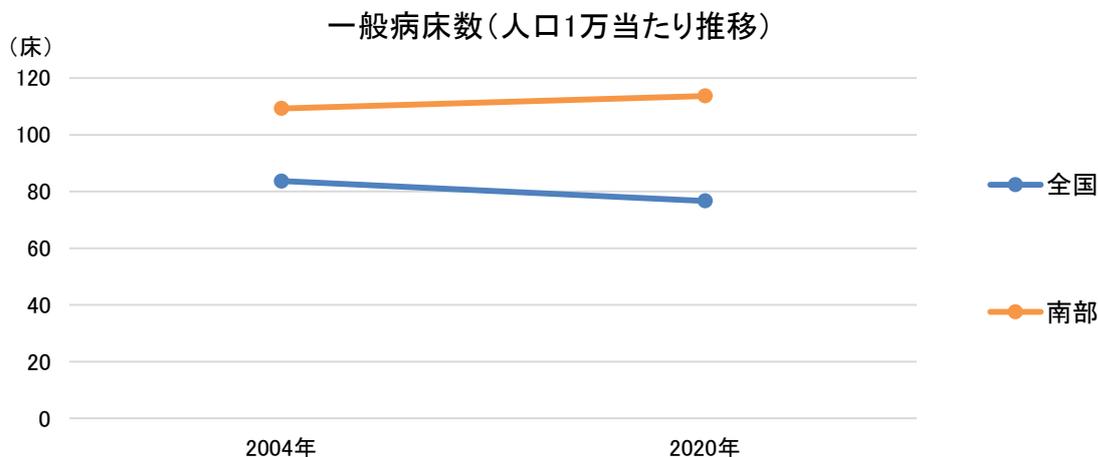
2004年の総病床数は4,155床(人口1万人当たり245(全国平均142)偏差値69)であったが、2020年に3,690床(人口1万人当たり250(全国平均126)偏差値73)と、465床の減少、率にして11%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は343人(人口10万人当たり203人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2020年に505人(人口10万人当たり342人(全国平均305人)偏差値54)と、162人の増加、率にして47%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,850床(人口1万人当たり109(全国平均84)偏差値59)であったが、2020年に1,679床(人口1万人当たり114(全国平均77)偏差値64)と、171床の減少、率にして9%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,208床(75歳以上1,000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2020年に978床(75歳以上1,000人当たり38(全国平均16)偏差値73)と、230床の減少、率にして19%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。

